

感染症情報

1月8日～14日(第2週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		まれにみられます
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★★	↑	ノロウイルスを含み流行中です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★★	→	コンスタントにみられます
⑭	アデノウイルス感染症	★★★	→	コンスタントにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★★★★	↓→	流行中です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★★	↑	増加中です
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★	↑	まれにみられます
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

「インフルエンザA型」は11月末をピークに減少していますが下げ止まっている状態です。A型2種類とB型が混在しているようで流行がもうしばらくは続くと思われます。

「アデノウイルス感染症」および「溶連菌感染症」はコンスタントにみられています。まだまだ流行が続くと思われます。「ノロウイルス性胃腸炎」を含む「感染性胃腸炎」も流行中で増加傾向です。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)オミクロン株」は一時ほとんどみられなくなりましたが、最近増加傾向です。しかしこの先の流行がどうなるかは予測できません。

様々な感染症が流行していますから引き続きWithコロナの対応をしていきましょう。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある